

第24回能代産業廃棄物処理センター環境対策協議会（議事録）

1. 日 時 平成25年11月26日（火） 13:30から15:00まで
2. 場 所 能代市浅内自治会館
3. 出席者 浅内自治会（原田恭三会長、原田宏作）、小野沢自治会（小野龍藏）、能代南土地改良区（原田文宏）、浅内水利組合（平川悟副組合長）、能代の産廃を考える会（武田巖代表、原田悦子事務局長）、能代市浅内財産区（大塚英和管理会会長、小野正博能代市総務部長）、能代市（小林一彦環境産業部長）、秋田県（佐々木誠生活環境部長）

4. 議 事

能代産廃センター土壌ガス調査結果及び処分場ボーリング調査について

事務局で説明後、質疑応答。

〈質疑の概要〉

- | | |
|-----|---|
| 委 員 | 資料1の(2)ガス採取方法に、覆土層はおおむね1m、場所によっては厚さ10cm程度のコンクリート+砕石が地表部に敷設されているとあるが、どこの処分場のことか教えてほしい。 |
| 県 | No.4、5、7処分場は、この図のとおり覆土層が約1mである。No.3、6処分場は、厚さ10cm程度のコンクリート又はアスファルトで地表部が舗装されており、その下に砕石が60cm程度、さらに下には30cmの覆土層があった。 |
| 委 員 | ガスの採取管は、すべての地点で覆土層まで入っているのか。 |
| 県 | どこの調査地点も深さ1mでガスを採取しているので、コンクリート層、砕石層を抜けた覆土層まで確実に入っている。 |
| 委 員 | 1mに決めたということは、場所によって廃棄物層までガス採取管が入ったところや、そうでないところがあるのではないか。 |
| 県 | No.4、5、7処分場は、覆土層が約1m20cmある。
No.3、6処分場は、地表部から舗装が10cm、砕石が60cmあり、その下に覆土層があったが、処分場の基準では覆土が50cm以上と決まっているので、いずれの地点も覆土層にガス採取管が入っている。 |
| 委 員 | 今日のために事前に勉強会を開き、地表にガスが出てくることについて、衣類用の防虫剤を例に挙げて、なぜ上にガスがいくかというところから勉強した。防虫剤で発生する気体は、下がる性質のものであるので、上にぶら下げて防虫をしているのだという話から、深さ1mのガス採取方法で本当に十分だったのか疑問を持った。この結果を基本にして、次の調査にいけると断 |

言できるのか、絶対に大丈夫なのか教えてほしい。

また、処分場には、覆土層が1 m 2 0 c mあったり、砕石があったり、木も生えている。雨が降ったときに木は、保水能力を持つが、こういうガスも雑木が吸収しているのか教えてほしい。

県 1 mのガス調査というのは、前回の平成17年度のガス調査と同じ方法である。防虫剤から昇華した気体と今回調査したガスと性質が異なることや、処分場の覆土層は砂質がかなり多く、下から上がってくるガスが通りやすい地層であったことから、結果は間違いないと考えている。

それから木がガスを吸収しているのではないかという話だが、木が生えているいないにかかわらず、ガス調査の結果には、影響を与えないと考えている。

委員 ガスは空気より重いのではないかという疑問があった。空気よりも重いガスがあれば、全体として不十分な調査ではないかという思いがあった。

県 ガスの重さという話もあるが、一方で濃いものが薄い方に拡散するということがある。そのため、重いからずっと下にあるかということ、薄い方向に向かって出ていくことがあり、その場に全て留まっていることは基本的にはない。そういった意味で、覆土層の砂を通して出てきたものを捉える調査だと考えていただきたい。

委員 拡散して濃度の低い方に流れることがあるとすれば、その影響で平成17年の調査から濃度が下がってきているものもあるのではないか。それから、ベンゼンが方々から検出されているので、地下に何かあるのかと思う。

県 ベンゼンが飛び飛びに検出されているのは、処分場として想定しているエリアの端であったので、いわゆるガスの道があるのかもしれないと推測している。ただし、はっきりした原因はわからない。

今回の土壌ガス調査は、次のボーリング調査のために事前に状況を確認するためのものである。ボーリング調査では、コアを全部保存するので、皆さんが見られるようになる。コアの中からは、5メートル毎に分析資料をサンプリングして、VOCなどの調査をすることになっているので、さらに詳細にわかるようになって考えている。

委員 ボーリング調査は、なぜ10箇所なのか。予算上のものかわからないが、10箇所とした根拠について伺いたい。

県 ボーリングの選定基準を資料に記載しているが、まずはガス調査で怪しかった地点として、4箇所を選定している。次に、この処分場調査の目的は、処分場の中の廃棄物の状態や汚染の度合いを確認することであり、できるだけその代表点を選定するため、合計10箇所になった。春先の説明では、11箇所にもボーリングを考えていると説明したが、バランスを考えた結果である。残りの1箇所について、是非ここをとという場所があれば、検討させてい

- ただきたい。
- 委員 No.6 処分場からは、15メートル間隔でガスが3地点で検出され、特に高濃度であった。先ほどの説明では、その周囲も調査をしたが、広がりがあったということだが、その3地点に1箇所ボーリングでは、はっきり言って足りないのではないかと。ガス調査で広がりが確認できなかったにしても、もう1、2箇所にボーリングを追加していただきたい。
- それから、No.2 処分場は、平成17年の調査で委員が棒を穴の内側から突き刺して、その先を確かめた場所だったが、泥と油が一緒になって土が堅くなっていたので、自分達の方では金属製のものに突き当たらなかった。確かに金属には当たらなかったが、現地を見ながら、No.2の処分場にも追加してみてもどうかというのが我々のまとまった意見である。先ほど1箇所余裕を持っているという話であったが、検討してもらえるのか。
- 県 ご要望のあった2箇所を掘れるかどうか、精査に時間をいただきたい。今後のボーリング調査では、まずNo.6 処分場とNo.2 処分場に1本ずつ掘ることになっている。その結果を踏まえ、現地を見ながら追加分をどこに掘るか相談させていただきたい。
- 委員 前回の平成17年の調査も、かなりボーリング調査をした。何mか掘ったら金属と金属の間に80cmの空洞等があったので、はっきりドラム缶だとわかった。いくつもボーリングしたが、これがドラム缶だと確認できたのは2箇所くらいだった。そういう確率だったので、1箇所のボーリング調査では、当たらないのではないかと疑問があり、もう少し追加があればと思う。
- 委員長 そういう経験やノウハウも活かしながら、効率的にやれると思う。まずは一番ご心配なところであるNo.2とNo.6 処分場をボーリングして、皆さんに立ち会っていただけたらどうか。
- その上で、追加のボーリングを検討してはどうか。
- 委員 追加できる1箇所というのが非常に大事である。昨日の勉強会では、3箇所に追加したいと考えたが、まず、県の計画や説明を信用するので、調査を進めてほしい。
- 委員長 いずれ、すべてのボーリングの結果を見てから、次の段階で今後の対策を考えることになるので、年度内にボーリング調査結果を全部ご説明したいと考えている。
- 委員 始めはNo.4、5、7 処分場の調査をやめても、No.2、No.6 処分場の調査を追加したらどうかと思っていた。
- 委員長 複数箇所あるが、減らすことができれば、融通が利く。
- 委員 No.7 処分場のSB-9を抜かしてでも、No.2とNo.6 処分場を重点的にやっ

てもらいたいと考えていた。

ただし、No.7 処分場は、穴を掘って、材木屋さんに木くずを持ってこさせて、そこにドラム缶からバキュームに移し代えたものを流し込み、木材に吸わせる状況が続いていた。

委員長 No.5 処分場のS B - 7や6はどうか。

委員 ここも1箇所でもいいかもしれない。

58年の地震のときに、酒屋さんのゴミを捨てに軽トラに乗っていったが、そのときの写真を見ると、どうもNo.5 処分場に捨てにいていたようだ。

委員長 ドラム缶とかなかったのか。

委員 58年のときは、すでに満杯であった。

委員長 No.5 処分場全体を見るためには、3箇所ボーリングすればいいと思ったが、2箇所にして、1箇所分を他にまわすとかは可能である。

委員 まわしてもいいのではないかというのが、昨夜の意見であった。

委員長 まず、ガスが一番高濃度であったNo.6 処分場のボーリング調査結果を見た上で、ご提案あったようにNo.7 処分場のボーリングを3箇所から2箇所にしたたり、No.5 処分場のボーリングを1つ減らすなどして、No.6 処分場に追加してもいいのではないかというご提案だったと理解した。

県 S B - 1はそのまま掘ってもいいのか。

委員 S B - 1は動かすつもりはない。先ほどの県の説明にあった処分場の性質を十分把握したいということであれば、計画通りでいい。

県 今回のガス調査では、1, 4-ジオキサンを調査できてない。ボーリングをすることで、直接、コアや地下水を取り、1, 4-ジオキサンがどこら辺にどういう状況にあるのか知ることが重要だと考えている。

委員 将来的な維持管理を考えれば、県の話も十分理解できる。

各処分場の状況を把握しなければならないので、まず、県がやることを全部信用して、県から示された計画どおりボーリングしていい。

委員長 ボーリング調査地点について、ご意見いただき、検討させていただいたが、まず一番大事なのは、やってるところを皆さんに見えるようにすることである。ボーリングの順番は、一番議論になったNo.2 処分場、No.6 処分場のS B - 1や4を一番最初の実施して、皆さんにご覧いただきながら進めていきたい。また、その結果も、年度内にはわかると思うので、ご報告さ

せていただく。

委員 ここまで進んだ調査なので、納得できる環境対策というものを考えてほしい。また、議論し合うことが、我々住民の不安を取り除き、安心につながっていくと思っているので、どうかそのことを願います。

委員長 委員から、No.7 処分場の昔の埋立状況もお話しいただいたので、効率的に調査を進めていきたいと思う。引き続き、ご協力お願いしたい。

ボーリング調査は、懸念があるところを早めに進めていくのでよろしく願います。